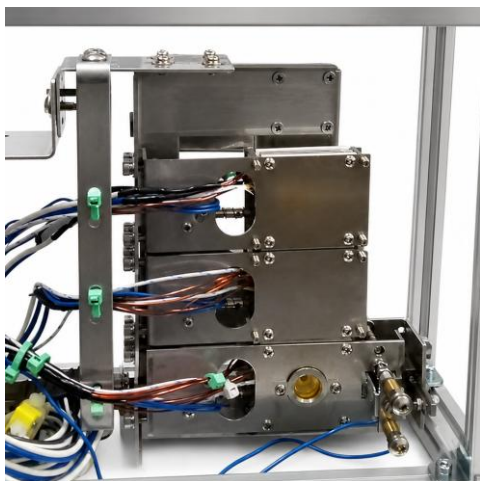


高速温度ジャンプ装置

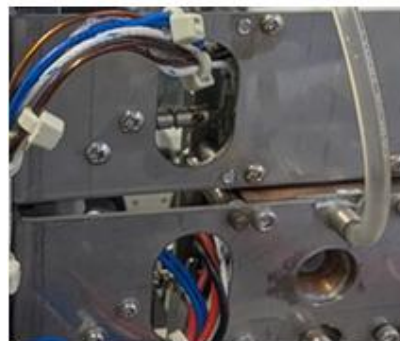
複数のステージを独立に温度制御し、試料を自重で落下移動させることで温度ジャンプを実現する装置です。

一定温度に設定した温度の違う複数のヒータユニット間を瞬時にサンプルが移動する事によって、高分子結晶化・融解時の構造変化などの研究にご活用いただけます。

顕微鏡観察、X線小角散乱、放射光施設等を用いた測定等にも対応。



ペルチエ式冷却仕様



特徴

室温～300℃の範囲での温度制御（冷却仕様の場合-20℃～100℃）

温度プログラム可能

温度、保持時間、ジャンプさせるタイミング等はタッチパネルで自由に設定可能。

運転開始から測定終了までをプログラムで自動運転。

※全て特注対応となりますので、ヒータの温度範囲、ジャンプ段数につきましては
ご相談ください。